

大阪府教育センター カリキュラム開発部 小中学校教育推進室

子どもたちの資質・能力を育成するために、学校現場の先生方は、より質の高い「主体的・対話的で深い学び」をめざそうと、日々、授業改善に取り組んでおられます。その一方で、「教師の指導性」を発揮することなく、子どもに学びを委ね過ぎるがゆえに、学びから取り残される子どもはいないでしょうか。

本分科会では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実について今一度見つめ直し、質の高い「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員が大切にするべきことについて、改めて考えます。

実践発表（ポスターセッション）

- ・ 小学校国語科
- ・ 小学校社会科
- ・ 小学校算数科
- ・ 中学校理科
- ・ 中学校外国語科



※15分のセッションを3回行います。5つの実践発表から3つを選択し、参加していただきます。

講演

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして
～「個別最適な学びと協働的な学び」と教員の指導性を見つめ直す～



加固 希支男（国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官）

- ・ 実践発表から、教科の本質を意識した探究的な学習、「生成AI」を用いた授業実践などについて知ることができたので、自分の実践に生かしたい。
- ・ 講演から、単元を通して深い学びを行うこと、既習事項等を関連づけて課題解決するプロセスを大切にすることは、どの教科でも通じる大切なことと学んだ。これらの視点を持ち、授業を行うことで、様々な場面で深い学びを充実させたい。
- ・ 子どもに学びを委ね、主体性を引き出す授業にするには、指導者が育成をめざす資質・能力や教科の見方・考え方を理解した上で、単元計画を立てたり、発問したりすることが大切だと学ぶことができた。